



もり 森林の風

特定非営利活動法人
森林の風
会長 蒲田 博
2012.3.30. 発行

第11号

だより



三重県、桑名市から
2名ずつの来賓を迎えヤ
マザクラを4本植樹。



ドングリの竹ポット
を60個植樹。開始
15分後には雨が・・・！



NTN職員と
その家族のみなさん
で80本のモミ
ジを植樹。

いそいで記念撮影！

屋内で竹ポットについて説
明の後、実際に竹ポットの
植え替えを体験。



このモミジ苗は、まなびの森に
おいて竹ポットで育てた苗を使
用しました。竹ポット苗の成長過
程のデータをとるために、植える
深さを変えて頂いています。



NTN株式会社

こもれびの森

第3回植樹イベント

平成24年3月10日(日) 桑名市多度山

ホンダ技研工業株式会社

鈴鹿製作所 第11回

森林保全ボランティア

平成24年3月24日(土) 亀山市向井

「こもれびの森」がある多度山は地元の方に愛され多く訪れるのでヤマザクラやモミジなどで景観を重視した憩いの場となる森づくりを目指し、亀山市向井(森林の風では「F1の森」と呼んでいます)では人工林に広葉樹を入れ水源涵養や災害に強い山づくりを目指しています。

森林施業 NPO法人  もり
森林の風

連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。



森林保全活動が続けていく中での楽しみのひとつに、いろんな方との出逢いがあります。共感したり、尊敬したり、もっと学びたいと思ったり。せっかくの出逢いを大切にしたい、そんな森林の風からのラブコール。

今回は、長野県のKOA森林塾です。「森林の風」草創期のメンバーも大変お世話になりました。「森林のセミプロ」を目指して森づくりの基礎を学び、「森林の風」を設立するきっかけのひとつとなりました。

KOA株式会社 社会環境センター
坂野 慎治

あなたの近くの森林には陽の光が差し込んでいるでしょうか。その森からチェーンソーの音が聞こえたことがあるでしょうか。知り合いに森林や林業のことをよく知り、手入れをしている方がいるでしょうか。

「誰もが山に入り山の手入れをする。その楽しさと素晴らしさを知ってもらいたい。」そのためにKOA森林塾は、山造りの基本的な考え方や技術を教える講座として1994年に始まり、植林や人工林調査・診断、間伐や簡単な集材、市場の見学や炭焼きなど山造り基礎コースとしての通年コース、調査・診断・間伐・木寄せに特化した三日間の集中コース、木を伐る技術の向上を目指した専門コースを開設しています。



ところで、林業では従事者が激減して久しく、個人所有林では所有者の世代交代や意識低下が著しくなっています。また政策では多機能林業機械による大規模面積の施業や林道開設を奨励していることにより、森林整備はより限定的な林業事業体への集約化が進むものと思います。

そうしたことから、地域の小規模山林が取り残されないためにも、手入れの方策が提案でき小さな動力で間伐や集材を行う方法を伝えるためにも、誰でもが山造りの基礎を知ることができる塾やNPOは貴重であり、KOA森林塾もその一つであり続けたいと思っています。



春です！まなびませんか？ その1.

KOA森林塾

長野県伊那市にある島崎山林研修所を集合場所に、樹木分類、植林・測量・製図、測樹・施業診断、伐木造材、間伐、伐出、木材流通などの見学、枝打ち、炭焼き・きのご菌打ち、など山づくりの基礎を学んでいただけます。

- 1 通年コース(18年間継続してきたコース：4月20日スタートで年間18回)
- 2 専門コース(チェーンソーに特化した経験者を対象とした3日間のコース：7,9,12月に実施)
- 3 集中コース(山づくり全体を経験したい方を対象とした3日間のコース：8,10月に実施)

もっと知りたい！... <http://www.koanet.co.jp> E-mail : mi-matsuoka@koanet.co.jp

お問い合わせは... TEL : 0265-70-7065 FAX : 0265-70-7994 (担当 松岡・早川)

報告 Report 「森づくりコーディネーター養成講座」に参加して

(滋賀県緑化推進会主催)

【森林の風 裏川】



推定樹齢 300 年のケヤキ



推定樹齢 400 年のスギ

2月23日から25日まで2泊3日でこの講座に参加してきました。近畿圏から約30名の参加者があり、三重県からは5名の参加がありました。

1日目は大学講師による基調講演(滋賀県立大の荻野氏と関西大の李氏の2名)があり「森づくりとボランティア」「アジアの巨木保全活動について」という主題での話を拝聴しました。夜には食後に参加者同士の交流会も行われました。ほとんどがボランティアでの活動が多く、どこも予算面と人材面(高齢化)の悩みを抱えている様子が見ええました。

2日目はバス1台を貸して滋賀県内の巨木やその保全活動の見学です。普段目にすることもない巨木には圧倒されますが、それを維持していく方々の苦勞もたいへんなことと察します。あと何年生かすことができるのかといった段階ですね。その日の最終には実際の森づくり現場と言われている場所へ案内していただきました。「県営都市公園『びわこ地球市民の森』」を植栽管理している場所ですが、43haほどの旧野洲川を土壌改良し植栽して森をつくるということで、総工費35億円、平成12年度から31年度までの20年間で完成させるという計画です。植樹などは「森づくりサポーター」というボランティアに負うところが大きいようです。私の目では森づくりという雰囲気はなく「広い市民公園をつくる」といったところでしょうか。全体の5割強には植栽されていますが密植されているためかなり間引きをしないと暗い公園になってしまうでしょう。表題を見たときには実際に山に入り、手入れされた人工林や2次林が見学できることを期待していましたが、ちょっと残念でした。

3日目はこれまでのまとめということで班に分かれてこれからの活動についての議論を行いました。私はポットの有効利用について話しましたが、誰もご存じなく興味深く聞いていただけました。(みなさん竹林にも困っているようです)

今回の講座に関して滋賀県緑化推進会の皆様にはいろいろと神経を使わせありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。またこの講座は近畿圏での持回り開催だそうで、ちなみに24年度は三重県とのことでした。

春です！まなびませんか？ その2.

みんなで支える森林づくりを考える

県民フォーラム

会場：津市内「三重県教育文化会館 多目的ホール」

日時：平成24年5月19日(土) 主催：三重県 共催：公益社団法人 三重県緑化推進協会

参加：一般県民の方々、森林づくり団体、漁業関係者、森林環境教育指導者、親子等(約150名)

意見交換のパネルディスカッションのパネリスト：森林の風、大杉谷自然学校、白山林業研究所、海野漁協

もっと知りたい！...県ホームページ、案内ポスターをご覧ください。

お問い合わせは...三重県、NPO法人森林の風(ホームページからEmailどうぞ)

随筆 Essay 11年後の植林地

【森林の風 高崎】

「11年前林業を始めた年(2000年)に植えたヒノキ林がどうなっているだろうか」

と、久しぶりに、箱根外輪山のふもと、雨坪を訪れた。通いなれた林道のはずだったが11年も経つと、支線の入り口が覚束無い。一度逆戻りしてようやくたどり着いたときは2時過ぎ。

背囊に100本ほど背負って植えた時はたしか3,40cm、3年生と聞いていた。それが(低い木で4m、平均6m位だろうか)下ばえを越えて見事なヒノキ木林となって目の前に現れた時は、地ごしらえ(ヘトヘト)の思い出も重なってジンと来るものがあった。この辺では、7,8年で下草刈りを抜ける。県有林なので、来年あたりは裾枝払いと間伐の依頼が県から出るはずなので「取りたい」と後を引き継いだ息子が言っていた。

帰り際、植林当時は気がつかなかった石碑に「昭和30年、地元の有志が苦勞して最後まで放置してあったこの地に植林を完了した」とあり拡大造林時代の人々の熱気を思っただけで帰路に就いた。



前年植林地(裾払い済み)より、野兎柵越しに望む。この時は複層林施業と云って全伐せずに残したヒノキの間に植林した。(当時のやはり?)

野兎(やと)柵



左:植林記念碑 右:近辺の間伐の様子
ほとんど切り捨て間伐、切りっぱなしで、横に並べる意識は弱かったなあ。



報告 Report 2012年度 NPO 法人森林の風総会を開催

2012年度の活動をスムーズに開始するため決算前でしたが、3月25日(日)にNPO法人森林の風2012年度通常総会を開催しました。会員数23名うち出席者14名委任状提出者8名につき総会が成立。2011年度活動のおおよそをもとに、**1. 2012年度の事業計画**、**2. 収支予算書**、**3. 役員報酬及び正会員活動費の支給に関する規定**について提案があり、協議の結果参加者全員一致で承認されました。2011年度決算については後日改めて臨時総会を開催いたします。

森林の風の行っている活動の多くはホームページにてご確認ください。活動の中心は請負による森林整備事業です。一方で企業や自治体、他のNPOと、森林・環境について一緒に学び協働させていただく機会も増えています。そのような状況を広くお伝えしながら、みなさんにご理解・支援いただけるよう適正な運営を常に心掛けています。今年度の活動目標と、次ページには事業計画を記載いたします。

平成24年度の活動目標

- 1、認定NPO法人申請を目指す。
- 2、会員1名につき年間1ha以上の森林施業を進める。
- 3、「まなびの森」事務所の整備及び整理整頓を進めて、資料など閲覧できるようにする。
- 4、森林環境教育を進める。竹ポット苗の育樹は年間3000本を目標とする。

平成 24 年度 森林の風事業計画

事業名	事業内容	実施時期・回数・延従事者数	受益対象者の範囲・延人数
1. 人工林総合施業			
・向井 F1 の森整備事業	間伐・作業歩道整備・定点観測・イベント準備	通年 15 回 100 人	本田技研工業㈱
	本田技研工業㈱森林保全活動イベント	2 回(9 月・3 月) 20 人	社員・家族 80 人
・三重県民の森管理支援事業	ヒノキの森及び生産の森の間伐	5 日 40 人	
	古損木の処理	5 日 30 人	
	森林学校の開催	5 回 10 人	一般 100 人
・企業の森技術指導事業	間伐・枝打ち 1.0ha イベント準備	冬季 10 回 70 人	
	企業森林保全活動イベント	春・秋の 2 回 20 人	企業社員・家族 120 人
・私有林整備	整備指導及び整備協力(小岐須始め 3.0ha)	冬季 10 回 70 人	森林所有者
・森林組合協働事業	間伐・枝打ち 1.5ha 植樹 1.0ha	冬季 10 回 70 人	森林所有者
2. 里山の再生			
・企業の森技術指導事業	雑木林の間伐・作業歩道の整備 1.0ha イベント準備	通年 13 回 70 人	㈱NTN
・多度こもれびの森	㈱NTN 森林保全活動イベント	2 回(11 月・3 月) 20 人	社員及び家族 150 人
・私有林整備	整備指導及び整備協力(1.0ha)	3 回 20 人	森林所有者
3. 竹林の整備			
・下大久保	竹林(0.7ha)を整備。余材で竹ポット、竹杭をつくる。	冬季 3 回 20 人	
4. 森林施業基礎研修会			
・まちのきこり人育成講座	まちのきこり人育成講座	8 回 50 人	一般 100 人
	まちのきこり人レベルアップ研修会	5 回 7 日 50 人	会員 50 人
5. 森林活動体験研修会			
・みえぎんまなびの森	㈱三重銀行・三重銀行森林倶楽部との協働	24 回(第 2.4 日曜) 50 人	㈱三重銀行社員 120 人
	里山整備・育樹などの研修 西山町で植樹イベント	1 回 10 人	一般 50 人
・中部電力記念日植樹券 プレゼント事業	御在所岳山頂で植樹	1 回(準備を含め 8 日) 40 人	一般 80 人
・桑名市森林ボランティア研修指導	多度山森林ボランティア研修の指導	1 回(2 日間) 10 人	一般 30 人
・多度中学間伐体験学習指導	多度中学 1 年生の間伐体験学習指導	1 回(2 日間) 10 人	多度中学 1 年生 200 人
・常盤西小学校学校林保全	除伐・遊歩道整備・植物研究指導など	2 回 10 人	児童及び保護者 120 人
・その他 森林環境教室	一般目標の森林教室 随時予定	10 回 50 人	一般 100 人
・菰野町御在所植樹ツアー	夏休みの御在所岳頂上の緑化事業	10 回 30 人	一般 300 人
・その他イベント参加	会の目的に合うイベント・展示会に限定し参加、パネル展示等する。	5 回 20 人	一般・多数
6. 間伐材の有効利用			
・薪材、間伐	間伐材を搬出、薪に加工。	12 日 40 人	一般・多数
7. その他管理事業			
管理・事務	会報発行、種苗管理、書類整理、打合せ等	24 日 170 人	
計		200 日 延 1,100 人	延 1,600 人

学ぶ Study 森の法律

【森林の風 灌口】

森林環境保全というジャンルにおける活動のなかで自然環境保全に関する多くの法律を理解し守ることは大切な事です。日本国内では全ての土地に所有者がいます。また、森林法、環境基本法など多くの法律があり自分の森林でも自由に伐採出来ないと思ってください。倒れている木でも持ち出せば右の図のようなもののお世話になるかもしれません。

森林施業を進めるときは、“土地所有者の確認”“森林の形態”

“自然環境保全に係る法律”を確かめることが大切です。ではどのような法律があるのでしょうか？ 今回は名前だけでも覚えてください。内容は随時掲載します。



(環境基本法) 自然環境保全の基本理念・環境施策の基本事項

自然景観・環境の保全

- 自然公園法 (国立公園、国定公園、都道府県立自然公園)
- 自然環境保全体法 (原生・自然環境保全地域、都道府県自然保全地域)
- 自然再生推進法 (自然再生基本方針、協議会)

生物多様性の確保

- 鳥獣保護法 (狩猟規制、鳥獣保護区)
- 種の保存法 (野生動植物の指定)

国土基盤の形成

- 森林法 (計画対象森林、保安林)
- 河川法 (河川区域、河川保全区域)
- 国有林野管理経営法(国有林野の管理、経営)
- 海岸法 (海岸保全区域)
- 砂防法 (砂防指定地)
- 急傾斜地法 (崩壊危険区域)

その他里山などで注意が必要と思われる法律

- 文化財保護法 (特別史跡名勝天然記念物、重要伝統的建築群保存地区)
- 樹木保存法 (保存樹・保存樹木)

これらの法律を守り森林自然環境を保全することは大切であり重要です。良かれと思ってしたことでも大変なことになりかねません。依頼地と森林所有者を確認しましょう。謄本及び委任状を準備し行政の担当者のところへ行けば、関連する法律および申請、許可、助成金などの説明を受けます。

たとえば、国定公園内であるかどうかや保安林の有無を確認し、間伐申請、種子採取については許可申請などをしなければなりません。また、森づくり山づくりは、まず面積測量から始まります。林分調査、植物調査、生態系の調査など、施業前の調査はたいへん重要です。

SIDE 1. 動物図鑑

冬の鳥たち

今年の冬は近年になく寒い冬になりました。今日は3月1日ですが、突然春の陽気になっています。日本だけではなく地球全体の気候が狂っているようです。

日本の地震もそのひとつでしょう。我々が生きている間に大きな地震がくるのは避けられないのかなと思う日々です。

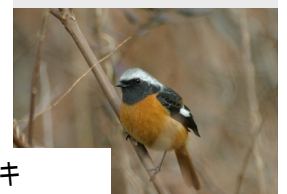
日本全体で言えることなのですが、今年は冬の渡り鳥が異常に少ない状態です。

ある人は「自然界の生き物たちはその変化に対して人間では計り知れないほど敏感に感じ取る何かを持っている。だから日本を避けているということは近い将来、また日本で大きな自然破壊が起きるのは...。」などという方もいらっしゃるかもしれません。なんとなく納得できるような不思議な冬でした。毎年群れになっているツグミも

ほんの少ししか見ていません。みなさんはどう感じられますか？



ミヤマホウジロ



ジョウビタキ

随筆 Essay 森林の風から林業のプロになる。

【森林の風 辻】

辻さんは、以前は全く違う業種にお勤めでしたが「森林の風」の活動参加で基礎力を養い、林業デビューを果たされました。森林の風活動の折々に「辻さん怪我もなく無事頑張っているかなあ」と話題にのぼります。NPOの活動とは違って、本業で森に入る日々様子をレポートしていただきます。

今、私が勤めている会社は素材生産を主体とした伐木が中心です。間伐はありますが、地拵えや植樹、下刈りなどの育林作業はありません。作業者は親方を入れて3名。作業も機械化が進んでいるため現場にはパワーショベル(兼グラブ)、フォワーダを使用します。重機が現場に導入されて作業効率は以前より良くなったようです。

施業はほとんどが皆伐で、その伐った材の太さ、反り、木口面の色、枝打跡、腐りなどを一本づつ確かめながら「どうすれば売れるか」を考えながら造材していきます。現場では殆どが大径木で、基本は同じでしょうが森林組合で施業したときの間伐作業とはかなり印象が違います。例えば早く乾燥させるために山の斜面上に向けて切ること(ここでは、のぼせ切りと言います)や集材しやすいように一方向へ倒すこともよくあります。

私自身、「森林の風」の時の経験を生かし、あらゆる作業に対して安全確認や対処方法を心得ながら作業しているつもりですが、それでも現場では体験したことのない場面に遭遇します。



皆伐した施業地



樹齢 100 年のスギ

親方には「勝手な作業をするのは仕事ではない。何をしなければいけないか周りをよく見て動け！」とお叱りを受けます。現場でのチームワークには命がかかっていることを肝に命じている次第です。

そんな私ですが以前にくらべてすばやく行動ができるようになり、造材(玉切り)も当初よりは上達したと褒められてもいます。今後も事故、怪我には細心の注意をはらって仕事に励んでいきます。

春です！まなびませんか？ その3.

森林の風の会員はAを必ず受講することになっています。皆さんも安全作業のためにぜひ。

A. 平成 24 年度 伐木等の業務にかかる特別教育講習会案内

1 回目 7 月 19 日(木)、20 日(金)

2 回目 10 月 4 日(木)、5 日(金)

3 回目 1 月 17 日(木)、18 日(金)

B. 平成 24 年度 刈払機(草刈機)取扱作業安全衛生教育講習会

1 回目・8 月 3 日 2 回目・11 月 9 日 3 回目・2 月 1 日

問い合わせ・申し込み(林災防・059 - 225 - 9014)

三重県での
実施予定です。

活動報告・活動予定

下大久保 竹林整備

2012年1月～3月

看板をたて、残っている雑木林をどうするか相談したり、水路わきのササを刈払ったり、枯れ竹の処理に手を焼いたり。今のところ全体の50%ほど整備が進んでいます。「タケノコが出てくるのは3月の末頃からかなー」という小川さんの意見も取り入れた結果(?)、4月8日に竹イベントです。整備作業し少し明るくなった竹林を感じた後は、タケノコを掘ってすぐ食べてみよう！東前さんの竹細工講座つき！参加希望の方はご連絡ください。【担当 高崎・堤】



小川さん！



NTN こもればの森

2012年1月29日(日)

桑名市多度山

3月10日の植樹イベントのため雑木林内を除伐・間伐しました。大径となったコナラやタブノキが多く林内を暗くしているため、植樹前に極力伐採し光を入れ

山を若返らせます。間伐作業中、チェーンソーがチェーンソーパンツに当るニアミスがありました。表面は切れたものの中の繊維は健在で怪我には至らず、チェーンソーパンツ着用の大切さを実感した一幕でした。

森林環境教育勉強会 KEEP 協会川嶋氏を迎えて

2012年3月11・12日 菰野町 まなびの森

森林環境教育の先駆けであるキープ協会より川嶋氏を迎え勉強会を実施。「まちのきこり人育成講座」等で今後に生かすべく、「伝え方」の知識や技術を学びました。

- 1、参加者が発見できる指導(詰め込み指導しない)
- 2、常に知識・技術の習得を！
- 3、コミュニケーション(直接対話する姿勢)が大切
- 4、充実度の判断は参加者が帰るときの笑顔。
- 5、講師は... 聞いたことは忘れる
見たものは思い出す
体験したことは分かる
発見したことは出来る...と心得る。



【瀧口】

亀山市野登

施業がひと段落し間伐申請を行いました。【大石】

現在施行進行中 (回数は目安)

向井F1の森(月2回) 林内整備、獣害対策
四日市西山町(月1回) 植樹後の管理、周辺整備
四日市下大久保(月1回) 竹林整備・竹ポット作成

< 定期活動日 >

第3日曜日 NTNこもればの森 / 第2・第4日曜日 みえぎんまなびの森

今後の予定 (詳細はHP等でご確認ください)

中電御在所頂上植樹イベント

そして...
春です！まなびませんか？

2012年度 まちのきこり人育成講座 始まる！

第1回3月31日(土)終了、第2回4月7日(土)間近！...

2012年度の「まちのきこり人育成講座」が3月31日から始まります。8回のプログラムを6月中旬にかけて行っていきます。

参加予定者は現在「定員まであと少し」というところです。森林施業の入口を体験していただくとともに「森」、「山」、「自然の大切さ」を実感していただければ幸いです。自分たちが汗を流すことで森が美しく甦る姿を見ると達成感はなかなかのものだと思います。講座が終わったら「森林の風」が目指している「水源の森づくり」をいっしょにしませんか。